

2021年(令和3年)

4月26日
No.1454

毎週月曜日発行(第5週は除く)

発行人:加覧光次郎
年間購読料 22,000円(税込)

リフォーム産業新聞

The Japan Journal of Remodeling

発行所:(株)リフォーム産業新聞社
亀岡大郎取材班グループ
本社:104-0061
東京都中央区銀座8-11-1
TEL:03(6252)3450 FAX:03(6252)3461
大阪支局:530-0005
大阪府大阪市北区中之島2-3-18
中之島フェスティバルタワー16階
暮らしをよくする、専門メディア

ゼムケンサービス 建築学ぶ「女学校」開設

2年で延べ1000人が受講

女性の就労機会を増やそうと取り組む会社がある。岡山北九州市、年商4億



▲女性の施工管理者を育成する学びの場を作った

籠田淳子社長

円だ。同社は8人中7人が女性社員。籠田淳子社長自ら2019年に「けんちくけんせつ女学校」を開校。オンラインも含め、延べ100人以上が受講した。

籠田社長によれば、建築関係の勉強に励む大学生の3割が女性だ。一方、実際に建設現場で働く女性には0.5%に満たない。そのため、無料で就職先企業の紹介も行っている。同社も女性活躍を推進。裁量労働制やワークシェアリングで柔軟な働

伴出勤「可 中抜け休憩も なくない」

なくない。

さらに3時間程度の中抜けができる休憩制度の設定もある。学校行事のために一度会社を抜けて、また職場に戻るなど柔軟にシフトの調整が可能だ。こちらも女性に限らず誰でも利用可。独自の記念日休暇制度もある。子供の誕生日はもちろんな親のため、好きな芸能人の誕生日を記念日にしてもいい。消化率はほぼ100%だ。

3人の子育てを経験した岩井麻利子社長は、柔軟さと風土が重要だと語

る。「制度を整備するだけではなく、実際に使用しやすい風土や周りの理解がないと、社員の間で溝が生まれてしまいます。子供が体調を崩し休む、早退する際には気軽に相談でき助け合えるよう心掛けています」

また、小さなことでも相談し合うよう徹底。朝礼では、営業職の場合、現在進めている案件を報告し情報共有を行う。司会を行う朝礼当番は全社員間で交代し、社員を1人挙げ、仕事で良かったところを発表する。すると普段から他の社員に興味を持ち、コミュニケーションもとりやすくなるのではと考える。

「女性目線でキッチンの使い方を説明してくれて分かりやすいなどの声も頂いています。社員が働きやすいよう寄り添うことは、お客様の立場に寄り添うことと同様だと思います」(岩井社長)

しんせつハウス 保育士が2人在籍

静岡県内でリフォーム事業を展開するしんせつハウス(磐田市)は、パート従業員の保育士を2人雇用し、自社スタッフや相談会に来た顧客の子供を預かる体制にしている。有資格者に限定し、安心して預けられるように



高橋由典社長

「家庭と仕事の両立が狙いです。女性が働きにくい会社だと、お客様の目線とずれてしまう。男女関係なく声をあげられる社風にした」と高橋由典社長は話す。